



いきいき仲間たち

地域ぐるみで 食い止める

茂原市認定市民活動団体
押日地域有害鳥獣被害防止対策協議会

近年、シカやイノシシといった野生鳥獣が急速に増加し、人の生活圏に出没することによる被害が全国的な社会問題となっています。これは茂原市においても同様で、押日地域では地域ぐるみで対策を図るため、平成29年「押日地域有害鳥獣被害防止対策協議会」を立ち上げました。押日地域では特にイノシシによる被害が目立ち、農作物の食害や農道や田畑の掘り起こし被害などが至る所で発生。また、人慣れしたイノシシが昼間でも姿を見せるようになり、人身被害が懸念される状況でした。会長の林博さんは「農作物への被害も問題だが、何よりも人が被害に遭ってはいけない。安心して過ごせる地域をつくりたかった」と設立の思いを話します。

発起人の大塚一夫さんは「個人による防護対策だけでは個体数は増えるばかり。イノシシの捕獲を“地域ぐるみ”で取り組むことが重要」と強調し、対策の必要性について自治会へ理解を求め、承認を得た上で協議会を設立。専門家を招いての研修会で

は、住民が対策意識を持てるように被害の現状や課題を一緒に学んでもらい、また、定期的に「たより」を発行し、イノシシの生態や捕獲・出没状況、足跡や獣道などの痕跡を、地図や写真を交えて分かりやすく発信するなど、地域全体で情報を共有しています。

捕獲には、鉄格子の檻におびき寄せる「箱罠」と、足をワイヤーでくくる「くくり罠」を数十か所設置。時には100kgを超える大物がかかることもあるそうです。「捕獲を始めてからは被害は減り、昼間に姿を現すこともほとんどなくなった」と安堵する一方で「被害が他の地域に分散したのでは根本的な解決にはならない」と協議会は警戒を緩めません。

「自分たちの地域は自分たちで守る。行政だけに頼らず、自助・共助・公助での対策が茂原市全体に広まってくれたら嬉しい」と林さんと大塚さんは語ってくれました。

防災・防犯に関する情報をメールで配信

もばら安全・安心メールを
登録
ご利用ください

右の二次元コードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信後、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp



※高齢者等を対象に、避難情報を自宅の電話・FAXに配信するサービスも行っています。
問合せ 防災対策課(4階) ☎(36)7580 ☎(20)1602

今月の日曜開庁	10月24日⑧ 8時30分～17時15分
市民課(2階)	☎(20)1502
市民税課(2階)	☎(20)1577
収税課(2階)	☎(20)1578
本納支所(ほのおか館内)	☎(34)2111
証明書等交付時間を延長	毎週水曜日 19時まで
市民課(2階)	☎(20)1502

※一部取り扱えない業務もありますので、詳しくはお問い合わせください。

日曜・休日当番医	※診療時間は9時～17時です	
	《内科系》	《外科系》
10月3日⑧	穴倉病院 ☎(24)2171	穴倉病院 ☎(24)2171
10月10日⑧	茂原中央病院 ☎(24)1191	清水三郎医院 ☎(25)0776

※都合により、変更する場合があります。救急患者が優先となります。消防本部 ☎(24)0119、☎(25)8448へお問い合わせください。

防災行政無線が再確認できます
しみんは 119
☎0120(438)119
(通話料無料)

【人口と世帯数】令和3年9月1日現在
●総人口 87,912人 ●世帯数 41,123世帯
●男 43,460人 ●女 44,452人
【8月中の動き】
●転入 209人 ●転出 185人 ●出生 35人 ●死亡 97人